

請 願 文 書 表

平成24年12月盛岡市議会定例会（平成24年12月17日）

受理 番号	受理年月日	請 願 の 要 旨	提出者及び紹介議員	付 託 委員会
7	H24. 12. 10	子供達の放射線被ばく を低減化することに関 する請願	<p style="text-align: right;">中山 一絵 ほか1名</p> <p>(紹介議員) 鈴木 礼子 細川 光正 高橋 重幸 守谷 祐志</p>	産業環境 常任委員会

子供達の放射線被ばくを低減化することに関する請願

紹介議員

高橋重幸
鈴木礼子
寺谷祐志
細川光正

平成24年12月10日

盛岡市議会議長 村田 芳三様

請願者 「代表」住所：

氏名：中山 一絵

住所：

氏名：館澤みゆき



請願第 7 号



子供達の放射線被ばくを低減化することに関する請願

「趣旨」

昨年の東京電力福島第一原子力発電所の事故により、盛岡市も観測史上最大量という放射性物質の降下が確認されております。

昨年は市の空間線量調査によって、毎時1マイクロシーベルトを超えるという、とてつもない汚染個所が発見され、除染するという事態も起こりました。

しかし、毎時1マイクロシーベルトを超えなかった個所は未だ除染されておりません。軒下や雨樋下の特異的に集積された個所では、数千～数万ベクレル/kgという高濃度の放射性物質がある可能性が高いと思われませんが、注意喚起もされず、子供が容易に触れる場所に危険物質があり続けています。

被ばくは、少なければ少ないほどリスクが低くなり、無用な被ばくは避けなければなりません。しかしながら、正確な汚染状況を把握している市民はとても少なく、現状では一番被ばくに弱い子供達が危険にさらされ続けています。

日本国内で重大な原子力災害が起こってしまった今、どうすれば良いのか、どのような事に気をつけなければならないのかを、市民1人1人が常識として知っておかなければなりません。

子供達の未来を守るために予防原則の立場で考え、被ばく低減化対策を推進すべきであると痛切に感じ、早期に改善していただけるよう請願致します。

記

請願項目1：盛岡市の除染基準を現在の毎時1マイクロシーベルトから、0.19に引き下げること。*

請願項目2：学校などの教育施設や公園など、特に幼児や児童が使用する場所の土壤調査をすること。

*0.19の考え方：国際放射線防護委員会（ICRP）の2007年勧告で、一般公衆の年間被ばく限量を自然放射線量も含めて1ミリシーベルトとしました。0.19はこれをもとに、一日に屋内に16時間いると仮定（低減係数0.4）して換算した基準値です。

$(0.19 \times 8 \text{ 時間}) + (0.19 \times 0.4 \times 16 \text{ 時間}) \times 365 \text{ 日} = 1 \text{ ミリシーベルト/年}$